
東方井老君記

東方風殺録制作委員会

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方井老君記

【Nコード】

N2191V

【作者名】

東方嵐殺録制作委員会

【あらすじ】

井老君なる青年がなんやかんやで幻想郷へ行き、そこで待ち受ける強大なオリキャラ等と戦ったり、ほのぼのしたりする物語である。

井老君、死す。略してIOSYS（前書き）

嵐殺録制作者の1人、双つの月と申します。

嵐殺録はいつか本当に弾幕STGで出したいなあ…とっております

井老君、死す。略してIOSYS

俺の名は井老君 神ノ介。

突然だが、俺は死んでしまった。

理由は簡単。

突然空からロードローラーが落ちてきたんだ。

何が起こったのか理解出来ないまま、俺は死んでいった。

そして今、俺の前には全力土下座しているリーマンらしき男がいる。

井老君「さつさと顔を上げて、何が起こったのか説明してくれ」

「え、えーとですね。」

そのリーマンが話すには、あのロードローラーは、実は事故で俺の頭上に降ってきたらしい。

「で、事故って言うのは一体どう言う事だ？」

「こちらの手違いで、貴方の隣を歩いていた人に車が突っ込んでくる。というものだったのですが、車はあまりにも可哀想なので、せめて自転車にしようと思ったたらロードローラーになってしまい。ヤバい！と思って方向転換させたらその先に貴方がいたわけですよ」
「…つまりお前はなんらかの能力を保持している、とでもいうのか？」

「バカにしますね？私はこんなナリでも最高神なんですよ？」

「はいはい、わかったわかった。で、どうして俺は素直に天に召されないわけ？」

「いえ、こちらの手違いで死んでしまったのはあまりに「o k . o

kわかったから」

「要約するとですね、何か能力あげて転生させよう！って感じなんですよ」

「どんな世界でもいいのか？」

「ええ、どんな世界、どんな能力でも構いません！」

「じゃあ、全部おまかせで」

「えええ！？おまかせなんかでいいんですか？」

「いいんだよ、別に」

「…わかりました。では、転生を開始しますね」

この時、俺はおまかせなんて言わなければよかった。等と後悔することになるうとは、思いもなかった。

井老君、死す。略してIOSYS（後書き）

次回「俺と月夜とえーりんと」乞うご期待！

俺と月夜とえーりと（前書き）

意欲が湧いてくるので、続けて更新

俺と月夜とえーりと

ザアア……

どうやら、雨が降っているようだな。

「無事に転生出来たようですね」

うおっ！ビックリさせるなよ…

それと、なんのようだ？

「まずはここの世界の説明を…」

いや、いい。

自分でこの世界を見て回りたいからな。

「そうですか、それでは能力ですが、
ふむ、それは少しきになるな

「元素を司る程度の能力。らしいです」

ちよつとまで、ゝ程度の能力ってことはここはまさか幻想郷か！？

「いえ、どうやらまだ幻想郷というところはないみたいです」

そうか、まあ、いい。

能力が判明しただけでも良ししよう。

「では、私はこれで…」

ああ、じゃあな。

それからなん年たっただろうか。

俺に妹が出来るらしい。

関係ないことだと思っていたが、違った。

ここは八意家、というらしい。

八意で思い当たるキャラといえば、そう。

「うーん。可愛い子だなあ、よし。名前はどうしようか」

俺「永琳、でいいんじゃないか？」

「よし、決めた。この子は永琳だ！」

そういえば二次創作で産まれて直ぐに言葉を喋った。

なんて記述があつて「父上、母上、よろしく願います」
やっぱりな。

「い、い、い、今この子喋ったぞ！」

俺「わー、凄い。おめでとー（棒読み）」

それだけ言つと、俺はさっさと部屋から出ていく。

いつのまにか空は真っ暗になっていた。

俺「…おまかせで、なんて言わなければよかったかもしれないな…」

…」

多分、この後は月への移住計画がでるはずだ。

それまでは俺が、永琳を守ってやるか。

そうして、井老君は闇に溶けていった……………

俺と月夜とえーりと（後書き）

次回「紅蓮に染まりし時」乞うご期待。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2191v/>

東方井老君記

2011年10月9日09時03分発行